

ひまわり

10月号 神戸市立長田中学校

<https://www.kobe-c.ed.jp/ngt-ms/>

凸 ジグソーパズル 凹

～歌声の響く学校を目指して～

教務部長

10月に入り、秋の気配が漂ってまいりました。秋は「食欲の秋」「芸術の秋」と言われますが、私の中では、「合唱の秋」と呼んでいます。

私は長田中学校に赴任してきた4年前、『長田に音楽文化の花を咲かせる』という目標を立てました。コロナ渦で歌えない時期もありましたが、1年目に土を耕し、2年目に種を植え、3年目に水まきをしましたので、4年たった今年はいよいよ「音楽文化」が芽吹くのではないかと期待しています。

音楽は瞬間の芸術です。本番の演奏は、二度と再現できません。近年、録画の性能が高まりましたが、やはり生の演奏には及びません。歌声が体育館の空気を振動させ、直接鼓膜に届くことでしか得られない感動が確実にあります。

これからの学校教育は、AIの発展にともなって大きく変化してくることが考えられます。その時代に、学校に求められる教育とは何か？その問いの一つの答えとして私は「合唱教育」だと言い切ります。

歌は、心が動かなければ歌えません。歌ほど一人ひとりの心を育てるものはないと確信しています。

中間テスト後から、放課後の合唱練習が始まります。中庭から子どもたちの歌声が響き渡る校舎を眺めると、鉄筋コンクリートの無機質な校舎が笑っているように感じます。私は、学校全体が活気と明るい前向きなエネルギーに満たされているこの瞬間が大好きです。

人間は、一人ひとり得意・苦手、好き・嫌いが違います。ジグソーパズルに例えるならば、同じものが存在しないピース（凸凹）なのではないでしょうか。

ジグソーパズルは、デコボコ（凸凹）があるピースを組み合わせることで一つの絵を完成させます。ピースには、凸と凹がピタッとハマるところがあります。クラス、学年で一つの絵を完成させるためには、凸と凹が互いを尊重しながら補い合い、くっつかなければ完成しません。

クラス・学年・学校は社会の縮図です。社会では、自分の苦手なことが誰かの得意なこと（逆も然り）であり、互いに補い合いながら生活しています。笑満祭では、クラス・学年合唱でピースがハマった個性的な絵をご覧いただけると確信しています。

10月24日（木）「笑満祭」では、保護者の皆様には録音ではなく空気振動を鼓膜で感じ、心を震わせていただきたいと思います。そして、夕ご飯は「ごちそう」を食べながら、感動を子どもに伝えてあげてください。これこそが学校と家庭で子どもを育てることに繋がると私は信じています。

では、10月24日（木）体育館でお待ちしております。